

**令和2年度(令和元年度対象)  
「教育委員会の主な事務の管理及び  
執行状況の点検及び評価」報告書**

**令和2年9月**

**相馬市教育委員会**

# 目 次

	ページ
はじめに	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	・・・ 1
ご意見をいただいた学識経験者	・・・ 1
<b>I 教育委員会の会議の概要</b>	
1 教育委員会の委員	・・・ 2
2 教育委員会の会議	・・・ 2
3 教育委員会会議以外の活動状況	・・・ 4
<b>II 事業の点検及び評価</b>	
1 点検及び評価の概要	・・・ 5
(1) 目的	・・・ 5
(2) 対象事業	・・・ 5
(3) 点検・評価方法（第1次評価）	・・・ 5
(4) 教育委員による意見（第2次評価）	・・・ 5
(5) 教育に関する学識経験者の知見の活用	・・・ 5
(6) 点検・評価シートの説明	・・・ 6
<b>III 点検・評価の結果</b>	・・・ 7
【学校教育】	
1－1 確かな学力の育成と個に応じた指導	・・・ 8
1－2 自己実現を目指す生徒指導の充実	・・・ 9
1－3 学校施設の整備・充実	・・・ 10
【生涯学習】	
2－1 相馬市まちづくり出前講座の充実	・・・ 11
2－2 青少年健全育成市民会議活動の充実	・・・ 12
2－3 地域づくりを目指したふれあい、交流事業の推進	・・・ 13
2－4 特色ある公民館活動の推進	・・・ 14
2－5 図書館資料等の充実と利用推進	・・・ 15
【文化】	
3－1 音楽の郷づくり事業の推進	・・・ 16
3－2 相馬市史編さんの実施	・・・ 17
3－3 市民の文化振興の拠点、利活用促進	・・・ 18
3－4 歴史資料収蔵館の利用促進	・・・ 19
【体育・スポーツ】	
4－1 スポーツ少年団活動の充実	・・・ 20
各部門別評価対象事務事業一覧	・・・ 21
<b>IV 教育委員の意見</b>	・・・ 22
<b>V 学識経験者の意見</b>	・・・ 28

## はじめに

平成19年6月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会では、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会へ提出するとともに市民に公表することが義務付けられました。この法改正は、教育委員会が事務の管理・執行の状況を自ら点検・評価することにより、より効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たすという趣旨に基づくものです。相馬市教育委員会では、本報告書により令和元年度の教育に関する事務の取り組み状況を報告します。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### <ご意見をいただいた学識経験者>

阿内 春生（あうち はるお）

福島大学人間発達文化学類 教育実践コース 准教授

佐藤 和彦（さとう かずひこ）

福島大学人間発達文化学類附属学校臨床支援センター 特任教授

（敬称略）

# I 教育委員会の会議の概要

## 1 教育委員会の委員

相馬市教育委員会は、教育長と5人の委員（※欠員1）で構成され、委員は市議会の同意を得て、市長が任命します。教育長の任期は3年で、教育委員の任期は4年です。教育長は市長が市議会の同意を得て任命し、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどります。

(令和2年5月1日現在)

職名	氏名	職業	任期
教育長	福地 憲司	元中学校長	令和2年4月27日 ～令和5年1月4日
教育長職務代理者	宗形 明子	(有) 飛天 常務取締役	平成30年10月1日 ～令和4年9月30日
委員	森 陽子	(有) 池田生花店 役員	平成29年10月31日 ～令和3年10月30日
委員	関根 進	(株) I H I 相馬事業所 総務部総務課長	平成28年7月1日 ～令和2年6月30日
委員	菅野 明彦	歯科医師	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日

## 2 教育委員会の会議

### (1) 定例会、臨時会

令和元年度は、定例会8回の会議を開催し、10件の議案を審議しました。

開催日及び会議の種類		議案
4月9日	定例会	相馬市社会教育指導員の任命について
5月14日	定例会	相馬市心身障害児就学指導審議会委員の委嘱及び任命について
		相馬市心身障害児就学指導専門調査員の委嘱について
7月2日	定例会	議案の審議なし

8月6日	定例会	相馬市幼稚園預かり保育条例の一部を改正する条例について
		相馬市幼稚園預かり保育条例施行規則の一部を改正する規則について
		相馬市立幼稚園の保育料に関する規則について
10月1日	定例会	議案の審議なし
11月5日	定例会	令和2年度人事異動方針案について
1月14日	定例会	令和2年度学校教育課の重点目標について
2月4日	定例会	議案の審議なし

## (2) 移動教育委員会

教育委員自らが教育現場に出向き、現況視察、意見交換や懇談を行ない、状況を把握することにより問題点や課題等を明確にし、教育委員会としての支援策を探るため、「学びのスタンダード」推進事業に係る研究指定校としての実践状況について、中村第二小学校と中村第二中学校に視察と併せて意見交換を行いました。

開催日	施設名	備考(参集者)
6月27日	中村第二小学校	出席者数：13名(学校長等)
11月15日	中村第二中学校	出席者数：11名

### (3) 報告及び協議事項、教育行政の課題の議論

議案に準ずる重要な案件については、報告及び協議事項として議論しました。「当面する教育行政の課題」についての話し合いや『いじめ防止等に関する条例について』の協議を行ないました。

開催日	内 容
4月9日定例会	[報告]平成31年第1回3月定例会市議会における質問について [報告]相馬市社会教育委員の任命について
5月14日定例会	[協議]移動教育委員会について [協議]令和2年度使用教科用図書採択に係る採択地区協議会委員選出について
7月2日定例会	[報告]専決処分の報告について [協議]移動教育委員会について
8月6日定例会	[協議]相馬市総合教育会議に係る協議事項について [協議]令和元年度（平成30年度対象）「教育委員会の主な事務の管理及び執行状況の点検及び評価」報告書について
10月1日定例会	[報告]令和元年相馬市議会9月定例会における一般質問について [報告]令和元年度9月補正予算について
11月5日定例会	[報告]令和元年台風19号の被害状況について [協議]移動教育委員会について [協議]相馬市いじめ防止等に関する条例について
1月14日定例会	[報告]令和元年第5回12月定例会市議会における質問について [報告]令和元年度10月専決予算、11月専決予算、12月補正予算について [協議]教育委員会の主な行事予定について [協議]次期総合教育会議における協議内容について
2月4日定例会	[報告]令和元年度1月専決予算について

### 3 教育委員会会議以外の活動状況

- ・教育委員研修会等 5回（延べ18人）
- ・その他学校行事等 4回（延べ16人）

## Ⅱ 事業の点検及び評価

### 1 点検及び評価の概要

#### (1) 目的

教育委員会が、事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し、公表することにより、効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たします。

#### (2) 対象事業

相馬市教育振興基本計画の大きな4分野「学校教育」「生涯学習」「文化」「体育・スポーツ」の中の事業を目的別にまとめた「施策」の中から13施策を対象とし、令和元年度の実施内容について点検及び評価を行いました。

#### (3) 点検・評価方法（第1次評価）

##### ア 評価単位

13の「施策」単位で行い、それぞれ1以上の事務事業について行なう。

##### イ 評価方法

施策を構成する「事務事業」の取り組み内容から、「必要性」「有効性」「達成度」について、1～5段階評価を実施し、それをもとに総合評価（A～D）を行い、さらにその事務事業の成果と課題を点検し自己評価としました。数値目標があるものは、その目標値にどれだけ近づけたかも参考にして総合評価を行いました。

○必要性：「目的」「緊急性」「義務」「要望・要請」「適応性」「類似・重複」

○有効性：「実効性」「進捗管理」「改善状況」「将来性」「情報提供」「効率性」

○達成度：「必要性・有効性の状況」「数値目標に対する進捗状況」

#### (4) 教育委員による意見（第2次評価）

点検及び評価（第1次評価）シートに基づき、教育委員が施策の取り組み方などについて、意見をまとめ第2次評価とします。

#### (5) 教育に関する学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項の教育に関する学識経験者の知見の活用については、教育委員会で施策ごとに作成した「点検・評価シート（第1次評価）」並びに「教育委員による審査（第2次評価）」に基づき、学識経験者に意見・助言をいただきました。

(6) 点検・評価シートの説明

点検及び評価シート 1

<b>部門名</b>	振興基本計画の【章】を記載	<b>No</b>	—
<b>大項目</b>	振興基本計画の【節】を記載		
<b>施策名</b>	施策の体系図の【基本】を記載		
<b>構成する施策</b>	施策の具体的内容の中の【主な施策】の1つを記載		
<b>担当部署</b>	教育委員会担当部署を記載		
<b>施策の背景と目的</b>	現在どういう状況(背景)にあって、それをどのようにしたいか(目的)やなぜこの施策が必要なのかを記載		
<b>【施策を構成する事務事業の自己評価】</b>			
<b>総合評価</b>	施策を構成する事務事業の「必要性」「有効性」「達成度」を総合的に判断し自己評価(第1次評価)を記載 A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要		
<b>成果</b>	・施策の目的に対してどのような成果があったかを記載 ・施策を構成する事業が、どのように施策に寄与したかを踏まえて記載 ・妥当な経費かどうかを検証して記載		
<b>課題</b>	・施策を進める上で課題や改善点を記載		
<b>【施策を構成する事務事業の概要・実績等】</b>			
<b>事業名</b>	施策を構成する事務事業の1つを記載		
<b>事業概要</b>	・施策の全体事業内容を記載 ・評価年度に取り組んだ事業内容を詳細に記載 ・取り組んだ事業内容の経費についても記載		
<b>評価年度の取り組み</b>	右に記載の6項目についてチェックし、必要性が高いものほど数字がおおき 右に記載の6項目についてチェックし、有効性が高いものほど数字がおおきくなる 決算(見込)額を記載 決算額を記載		
<b>必要性 1~5</b>	数値目標と実績値とを比較して達成度を記載 数値が大きくなるほど達成度が高い	目的 緊急性 <input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 要望・要請 <input type="checkbox"/> 適応性 <input type="checkbox"/> 類似・重複 <input type="checkbox"/>	有効性 1~5 教育振興基本計画に記載されている数値を記載
<b>達成度 1~5</b>	現況数値(平成21年度) <input type="checkbox"/>	教育振興基本計画に記載されている数値を記載 目標値(平成28年度) <input type="checkbox"/>	実効性 進捗管理 <input type="checkbox"/> 改善状況 <input type="checkbox"/> 将来性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/>
		平成26年度決算額 <input type="checkbox"/> 円 平成25年度決算額 <input type="checkbox"/> 円	この事務事業の取り組みにより達成した実績値を記載



### Ⅲ 点検・評価の結果

13の施策について、それぞれ1以上の事務事業について第1次評価を実施しました。それぞれ評価シートを次ページ以降に掲載し、最後に評価の「必要性」「有効性」「達成度」「総合評価」をまとめたものを「各部門別評価対象事業一覧」として掲載しました。

#### 【学校教育】

##### 1-1 確かな学力の育成と個に応じた指導

〔事務事業〕 学力向上推進事業

##### 1-2 自己実現を目指す生徒指導の充実

〔事務事業〕 教育相談研修会の実施(望ましい人間関係を築く学級経営のための)

##### 1-3 学校施設の整備・充実

〔事務事業〕 老朽化した校舎、設備などの改築・改修の実施

#### 【生涯学習】

##### 2-1 相馬市まちづくり出前講座の充実

〔事務事業〕 相馬市まちづくり出前講座の実施

##### 2-2 青少年健全育成市民会議活動の充実

〔事務事業〕 青少年健全育成市民会議事業

##### 2-3 地域づくりを目指したふれあい、交流事業の推進

〔事務事業〕 学習発表会の充実と強化

##### 2-4 特色ある公民館活動の推進

〔事務事業〕 特色ある公民館活動(事業)

##### 2-5 図書資料等の充実と利用推進

〔事務事業〕 児童図書の収集

#### 【文化】

##### 3-1 音楽の郷づくり事業の推進

〔事務事業〕 そうま音楽夢工房コンサートの実施

##### 3-2 相馬市史編さんの実施

〔事務事業〕 市史編さん事業

##### 3-3 市民の文化振興の拠点、利活用促進

〔事務事業〕 市民会館の利活用促進

##### 3-4 歴史資料収蔵館の利用促進

〔事務事業〕 歴史資料収蔵館における常設展・企画展の開催

#### 【体育・スポーツ】

##### 4-1 スポーツ少年団活動の充実

〔事務事業〕 スポーツ少年団活動の充実

# 点検及び評価シート 1

<b>部門名</b> 学校教育	No	1	—	1
-----------------	----	---	---	---

大項目	学校教育の充実
施策名	生きる力を育む学校教育の充実
構成する施策	確かな学力の育成と個に応じた指導
担当部署	教育部学校教育課
施策の背景と目的	確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成するために、学習指導、道徳教育、生徒指導、体育・健康に関する指導など教育活動全般に渡ったバランスのとれた指導を行う必要があります。そのために、教育環境の整備充実と家庭・地域との連携協力、並びに研修等を通して教員の指導力の向上を図るとともに、児童・生徒の心のケアに努める必要があります。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	A	A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要
成果	・全国学力学習状況調査や相馬市学力調査の結果から、小・中学校とも、国語の平均正答率の他、短答式や記述式の問題の正答が全国を上回っており、「読む力」「書く力」が高まり、学力の定着が伺えます。小学校での辞書引き活動、新聞や新聞コラムを活用し、家庭学習との連携を図ったことによるものと考えられます ・英語検定(2級～5級)では中2生徒310名のうち185名が取得しました。【H28年度16.9% H29年度66.2%→H30年度57.7%→R元年度60%】 ・相馬寺子屋学習会では、市内中学生47名、その内、東大見学は23名参加しました。学習会では、意識が高く前向きな学習態度が醸成されています。成績優秀者10位以内に8名(1～3年)が入り、受賞しました。	
課題	・全国学力・学習状況調査や相馬市学力調査では、複数の情報や資料を読み取り活用する力に課題があるため、児童生徒の思考・判断・表現力の向上を図るため、ICT機器を利用した資料の提示や思考過程の見える化など効果的な情報などの読み取り活用を行うことが必要です。 ・中3の英検3級取得数は43名/332名【13%】となり、全国18.1%(H30年度)を下回ります。3年生の検定試験受験率を高める指導が必要です。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	学力向上推進事業								
事業概要	東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響からの復興のためには、学校の教育課題を踏まえ、学校の特色を生かした学力向上事業によって将来を担う子供たちに確かな学力を身につけさせ、将来の職業選択の可能性を高める必要があります。平成30年度まで行っていた「学校提案型教育支援事業」の中から特に成果のあった「新聞・新聞コラム活用」を中心に事業展開を図りました。								
評価年度の取り組み	市内全校での取組として、 【小学校】○毎日小学生新聞20回配付(5.6年児童・8校) 読売KODOMO新聞(1校) ○辞書(全小学校) ・教育漫才(1校) ・問題集活用(4校) ・外部講師招聘(3校) ・先進校視察研修(4校) ・水と安全の人間関係ワークショップ開催(1校) 【中学校】○朝日中高生新聞20回配付(中学1年) ○新聞コラム35回(中学2.3年) 進学講演会(中学2.3年) ○英語検定受験(中学2年) ・学習プリント(1校) ・漢字検定等(1校) ・先進校視察研修(4校) ・寺子屋学習会・東大見学								
必要性 1～5	5	目的 緊急性 義務 要望・要請 適応性 類似・重複	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	有効性 1～5	5	実効性 進捗管理 改善状況 将来性 情報提供 効率性	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	令和元年度決算額	6,946,489円
								平成30年度決算額	17,067,866円
達成度 1～5	4	現況数値(平成27年度)	—	目標値(平成34年度)	—			実績値	—

# 点検及び評価シート 1

<b>部門名</b> 学校教育	No	1	—	2
-----------------	----	---	---	---

大項目	学校教育の充実
施策名	生きる力を育む学校教育の充実
構成する施策	自己実現を目指す生徒指導の充実
担当部署	教育部学校教育課
施策の背景と目的	確かな学力、豊かな心、健やかな体を育成するために、学習指導、道徳教育、生徒指導、体育・健康に関する指導など教育活動全般に渡ったバランスのとれた指導を行う必要があります。そのために、教育環境の整備充実と家庭・地域との連携協力、並びに研修等を通して教員の指導力の向上を図るとともに、児童・生徒の心のケアに努める必要があります。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	A	<p>A 事業をさらに推進することが妥当          B 事業を現状のまま継続することが妥当          C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要          D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要</p>
成果	<p>本事業においてQUアンケート(学級診断尺度調査)を全児童生徒に年2回(6月・11月)実施し、その結果の生かし方について研修会を実施することで、実際の学級経営に効果的に活用しています。また、適応指導教室の教育相談員を中心に教育支援相談員やスクールソーシャルワーカーが積極的に教育相談を行い、不登校対策に取り組むことができました。家庭訪問73回、相談支援数219件を数えます。その結果、不登校から復帰したり、医療福祉に繋ぐことで家庭・学校生活を安定する事例もありました。また、適応指導教室に通っていた中学校3年生7名全員が高校進学を果たすことができました。次に相馬フォロアチームの相談件数は380件、関係機関との連携対応は452件、合計で832件でした。子どもの発達障がい、不登校対応だけでなく要保護対策連絡協議会に関わる対応もあり、H30年度(相談349件、携対応419件で合計768件)と比較して64件の増です。台風19号による被災のため、活動拠点をアートメゾンから相馬愛育園に移動することになりましたが、素早い対応のため、相談活動を維持することができました。相馬市メンタルヘルスサポート事業は2年目となりますが、元年度は、相談件数が20件ありました。医療へつなげ、改善したケースもありました。</p>	
課題	<p>学校生活における人間関係づくりや学力不振の問題だけではなく、家庭的な環境によって不登校となる児童生徒や愛着障害の事例が増加しています。長期間にわたって不登校になっている児童生徒については、学校による働きかけだけではなく、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、民生委員や家庭児童相談員、医療機関との連携がより重要になっています。また増加する愛着障害への対応が喫緊の課題となっています。</p>	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	教育相談研修会の実施(望ましい人間関係を築く学級経営のための)								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相馬フォロアチーム」のカウンセリング業務:東日本大震災の被災による精神的ダメージが子どもたちの健全な成長に影響することが懸念されることから、児童生徒の「心のケア」を目的として、臨床心理士によるカウンセリング業務を行う。</li> <li>・スクールソーシャルワーカー派遣事業:安心して学校生活が送れるよう、児童生徒の心のケア、教員、保護者への助言・援助、福祉関係機関との連携調整を行う。</li> <li>・メンタルヘルスサポート事業:悩みを抱え、不安定になっている相談者に対して、医療の専門家によるメンタルヘルス相談を行い、心のケアを行うとともに、教育・福祉の分野から医療分野への相談を円滑に行う。</li> </ul>								
評価年度の取り組み	<p>1. 相馬フォロアチームの活動内容          ① 学校巡回カウンセリング(3名のカウンセラーが対応)          ア 派遣校 中村二小(週2)、磯部小(週1)、中村二中(週1.5)、磯部中(週1)          ② LVMH子どもアートメゾン相談室での子育てに関する相談活動          ア 広く相馬市内の子どもや保護者を対象とした子育て相談          イ 教育委員会・適応指導教室・医療機関との連携          ウ スクールソーシャルワーカーとの連携(週1回の情報交換)</p> <p>2. スクールソーシャルワーカー配置事業          ①週3日、中一中を拠点校として、市内全校への対応          3. メンタルヘルスサポート事業          ①月2回アートメゾンでの精神科医による相談業務(堀メンタルクリニック 堀有伸医師)</p>								
必要性 1~5	5	目的 緊急性	<input type="checkbox"/>	有効性 1~5	5	実効性 進捗管理 改善状況 将来性 情報提供 効率性	<input type="checkbox"/>	令和元年度決算額	22,801,710円
		義務 要望・要請 適応性 類似・重複	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	平成30年度決算額	21,664,800円
達成度 1~5	4	現況数値(平成27年度)	—	目標値(平成34年度)	—			実績値	—

# 点検及び評価シート 1

<b>部門名</b> <b>学校教育</b>	<b>No</b> 1                    —                    3
------------------------	---

大項目	教育環境の充実
施策名	教育施設の安全・安心の確保
構成する施策	学校施設の整備・充実
担当部署	教育部 総務課
施策の背景と目的	学校教育施設の整備については、耐震化対策と施設の老朽化対策を併せて推進する必要があります。校舎・体育館の耐震化対策については全て終了しておりますが、今後の老朽化対策については、児童生徒数が減少する中、建築年次や老朽化の度合いにより、改築や大規模改修など年次計画を作成し、整備に努めなければなりません。また、設備の充実についても計画的に進めていく必要があります。

### 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	A	A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要
成果	市内小学校4校、中学校1校の空調機の設置工事を終了しました。 市内小学校2校のトイレを洋式改修工事を終了しました。 日立木小学校校舎改修事業に平成30年度から継続して施工中です。	
課題	学校施設は、地区の防災拠点としての役割を加味していかなければなりません。児童生徒数が減少する中、施設の統廃合や学区の見直しなどと併せて検討する必要があります。市内学校のあり方検討委員会で市内小中学校の将来を調査・検討し方向性を決めてから施設の整備・充実に図ることが重要となります。	

### 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	老朽化した校舎、設備などの改築・改修の実施																																																																																			
事業概要	第一に、空調機設置については小学校4校、中学校1校が設置工事完了しました。第二に、小学校洋式トイレ改修事業については2校が改修工事完了しました。第三に、校舎の長寿命化及び学習環境の改善を図るため、日立木小学校校舎改修事業は平成30～令和2年度の計画で改修いたします。																																																																																			
評価年度の取り組み	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">[空調機設置]</td> <td style="width: 40%;">空調機設置工事監理業務委託</td> <td style="width: 15%;">8,100,000円(H31.3.11～R1.8.9)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>空調機設置工事</td> <td>261,374,040円(H31.2.18～R1.7.31)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和元年度支出分:</td> <td>269,474,040円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[小学校]</td> <td>洋式トイレ改修工事設計業務委託</td> <td>1,674,000円(R1.6.11～R1.9.6)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>洋式トイレ改修工事</td> <td>30,583,300円(R1.10.11～R2.3.27)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和元年度支出分:</td> <td>32,257,300円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>[日立木小]</td> <td>校舎長寿命化改修工事監理業務委託</td> <td>13,284,000円(H31.3.20～R2.9.11)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>校舎長寿命化改修建築主体工事</td> <td>489,975,800円(H31.3.7～R2.8.28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>校舎長寿命化改修電気設備工事</td> <td>92,274,400円(H31.2.18～R2.8.28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>校舎長寿命化改修機械設備工事</td> <td>90,720,000円(H31.2.18～R2.8.28)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和元年度支出分:</td> <td>352,330,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							[空調機設置]	空調機設置工事監理業務委託	8,100,000円(H31.3.11～R1.8.9)						空調機設置工事	261,374,040円(H31.2.18～R1.7.31)						令和元年度支出分:	269,474,040円					[小学校]	洋式トイレ改修工事設計業務委託	1,674,000円(R1.6.11～R1.9.6)						洋式トイレ改修工事	30,583,300円(R1.10.11～R2.3.27)						令和元年度支出分:	32,257,300円					[日立木小]	校舎長寿命化改修工事監理業務委託	13,284,000円(H31.3.20～R2.9.11)						校舎長寿命化改修建築主体工事	489,975,800円(H31.3.7～R2.8.28)						校舎長寿命化改修電気設備工事	92,274,400円(H31.2.18～R2.8.28)						校舎長寿命化改修機械設備工事	90,720,000円(H31.2.18～R2.8.28)						令和元年度支出分:	352,330,000円				
[空調機設置]	空調機設置工事監理業務委託	8,100,000円(H31.3.11～R1.8.9)																																																																																		
	空調機設置工事	261,374,040円(H31.2.18～R1.7.31)																																																																																		
	令和元年度支出分:	269,474,040円																																																																																		
[小学校]	洋式トイレ改修工事設計業務委託	1,674,000円(R1.6.11～R1.9.6)																																																																																		
	洋式トイレ改修工事	30,583,300円(R1.10.11～R2.3.27)																																																																																		
	令和元年度支出分:	32,257,300円																																																																																		
[日立木小]	校舎長寿命化改修工事監理業務委託	13,284,000円(H31.3.20～R2.9.11)																																																																																		
	校舎長寿命化改修建築主体工事	489,975,800円(H31.3.7～R2.8.28)																																																																																		
	校舎長寿命化改修電気設備工事	92,274,400円(H31.2.18～R2.8.28)																																																																																		
	校舎長寿命化改修機械設備工事	90,720,000円(H31.2.18～R2.8.28)																																																																																		
	令和元年度支出分:	352,330,000円																																																																																		
必要性 1～5	5	目的 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性 <input checked="" type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 要望・要請 <input checked="" type="checkbox"/> 適応性 <input checked="" type="checkbox"/> 類似・重複 <input type="checkbox"/>	有効性 1～5	5	実効性 <input checked="" type="checkbox"/> 進捗管理 <input checked="" type="checkbox"/> 改善状況 <input checked="" type="checkbox"/> 将来性 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/>	令和元年度 決算額	654,061,340円																																																																													
						平成30年度 決算額	1,452,972,720円																																																																													
達成度 1～5	2	現況数値 (平成27年度)	—	目標値(平成34年度)	—	実績値	—																																																																													

# 点検及び評価シート 1

<b>部門名</b> 生涯学習	No	2	-	1
-----------------	----	---	---	---

大項目	生涯学習推進体制の充実
施策名	生涯学習意識の啓発と多様な学習内容の企画運営
構成する施策	相馬市まちづくり出前講座の充実
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
施策の背景と目的	市民一人ひとりが健康で心豊かな生活が送れるよう、相馬市の現状や歴史などについて市職員や関係機関の職員が講師となり、学習機会を提供し、市民の学習意欲に応えることを目的としています。また、生涯学習ボランティアの推進及び日ごろの生涯学習活動で習得した技術や知識を実践する場を提供するため、ボランティア市民講師による講座も併せて実施しています。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	B	A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要
成果	市民の教養の向上及び生涯学習機会を提供し、令和元年度は2,001名の市民が出前講座を利用しました。ボランティア市民講師による講座は「御仕法について」や「アロマテラピーハンドマッサージ講座」など14講座を用意し、生涯学習の実践の場を提供することができました。小・中学校の総合学習や地区老人会のほか、市内の企業などからも申し込みがあり出前講座が各方面に認知されてきています。また、今年度は特別メニューを3講座実施し、「旧中村街道についての歴史」や「職業講演」など、例年以上の幅広い学習の場を提供できたことが特長として挙げられます。なお、平成30年度の受講人数2,243名に対して受講者数が減少しましたが、台風19号及び新型コロナウイルスの影響により9講座が中止となったことが要因となっております。	
課題	受講する側の活用は進んでいるものの、自らの技能を生かして、市民の教養を深めることができる人材を発掘しボランティア市民講師メニューのさらなる充実が必要です。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	相馬市まちづくり出前講座の実施								
事業概要	市民などが主催する学習会に市職員や関係機関の職員及びボランティア市民講師が出向き、講座を実施しています。講座実施後は、講師からは「講座報告書」を、受講者からは「受講者アンケート」を提出してもらい、講座内容を検証しています。 年1回程度、講座の担当課及びボランティア市民講師にメニューの見直しを依頼し、メニューを更新しています。 ボランティア市民講師については年間を通して募集し、随時追加しています。								
評価年度の取り組み	4月メニューの見直し6月に生涯学習推進会議及び7月に生涯学習推進本部で事業内容の検証 5月 1日 「広報そうま」へメニュー掲載、HPへ掲示 出前講座メニューのリーフレットを作成し、公民館等へ配布した。 年間 出前講座の実施								
必要性 1～5	5	目的 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性 <input checked="" type="checkbox"/> 義務 <input checked="" type="checkbox"/> 要望・要請 <input type="checkbox"/> 適応性 <input type="checkbox"/> 類似・重複	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	有効性 1～5	4	実効性 <input checked="" type="checkbox"/> 進捗管理 <input checked="" type="checkbox"/> 改善状況 <input checked="" type="checkbox"/> 将来性 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	令和元年度決算額	0円
達成度 1～5	4	現況数値 (平成27年度)	41件	目標値(令和4年度)	70件	実績値	72件	平成30年度決算額	0円



# 点検及び評価シート 1

部門名 <b>生涯学習</b>	No	2	—	2
-----------------	----	---	---	---

大項目	青少年の健全育成活動の充実
施策名	非行防止活動の充実
構成する施策	青少年健全育成市民会議活動の充実
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
施策の背景と目的	青少年をとりまく環境は、少子化、核家族化、高度情報化、家庭や地域教育力の低下、そして、東日本大震災の影響により大きく変化しています。青少年健全育成市民会議では、地域や関係団体等と連携し、青少年の心と身体の健全な育成を図り、非行防止策を推進することを目的として事業に取り組んでいます。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	B	A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要
成果	市内32地区で青少年健全育成のための活動が行われ、家庭や地域のふれあいを深める取り組みを推進しました。活動内容として、ふれあい餅つき、クリスマス会、運動会、芋煮会、卒業入学祝い、通学路ゴミ拾いなどが開催されています。また、団体活動奨励金を交付し、親子レクリエーション、工作教室など各団体の健全育成活動を支援しています。申請団体数としては過去最も多い42団体から申請がありました。交付実績数自体は、台風19号の影響により3団体が事業中止(=全額返還)となったため39団体ですが、これも過去最も多い交付団体数となりました。	
課題	青少年健全育成団体活動奨励金の申請数が多くなってきており、予算との兼ね合いが難しくなっています。また、運営委員会等での発言が少ないので、より多くの意見を伺うため、会議の活性化が必要です。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	青少年健全育成市民会議事業						
事業概要	家庭・学校・地域などが連携し、青少年の成長を支える環境づくりを進めるため、各地区や青少年の健全育成を行う団体に対して補助金を交付することにより、地域での青少年健全育成への取り組みを支援しています。また、少年センターや相馬市子育て支援連絡会をはじめとした関係機関等と連携した非行防止活動や啓発活動を実施しています。						
評価年度の取り組み	令和元年度では、地区育成活動補助金として、32地区10,057世帯に1,054,890円、団体活動奨励金として前年度より2団体多い39団体に2,043,989円を交付しています。その他、広報誌の発行、少年の主張大会の開催、みんなで子育てワイワイショップ(相馬市子育て支援連絡会主催)への参加をしました。なお、例年行っている街頭啓発活動は、台風19号の影響により中止となりました。						
必要性 1~5	5	目的 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性 <input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 要望・要請 <input checked="" type="checkbox"/> 適応性 <input checked="" type="checkbox"/> 類似・重複 <input type="checkbox"/>	有効性 1~5	5	実効性 <input checked="" type="checkbox"/> 進捗管理 <input checked="" type="checkbox"/> 改善状況 <input checked="" type="checkbox"/> 将来性 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/>	令和元年度決算額	3,377,060円
						平成30年度決算額	3,509,031円
達成度 1~5	5	現況数値 (平成27年度)	36団体	目標値(令和4年度)	36団体	実績値	39団体

# 点検及び評価シート 1

<b>部門名</b> 生涯学習	No	2	-	3
-----------------	----	---	---	---

大項目	生涯学習施設の充実
施策名	公民館活動の推進
構成する施策	地域づくりを目指したふれあい、交流事業の推進
担当部署	中央公民館
施策の背景と目的	各公民館で実施している各種教室生の学習成果を発表する機会を設けることにより、学習意欲の高揚をはかるとともに、地域社会に対して、より開かれた公民館活動をめざす。 ①創作技能の向上を図る。②学習成果の喜びを分かち合うとともに教室生間、及び市民との交流を促進する。③多くの市民に公民館事業への参加を呼びかける。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	B	A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要
成果	台風等の影響により中央、日立木、八幡、玉野、飯豊、新型コロナウイルス感染症拡大により磯部の9公民館中6公民館で学習展が中止(飯豊は開催途中で終了)、1,187人(前年対比54.7%、1,437人減)の来館者となり目標値を大きく下回った。このような状況でも開催できた大野公民館は実行委員会の発案で水害被害に遭われた方々へ支援するため、模擬店の売上金を市へ寄付するなど、他の地域への思いやりを感じられる学習展を展開した。	
課題	①台風接近中に開催し途中で終了したが、スムーズな市担当部局と避難所開設の情報共有伝達体制を整える必要がある。(飯豊) ②新型コロナウイルス感染症拡大防止3密の回避、マスク着用、手指消毒などの対策を取りながらの人を集める大規模なイベント実施の判断が難しい。(中央) ③教室及び教室生の固定化、教室生の高齢化により演目数の減少、来館者の固定化、高齢化も進んでいる。男性参加者が少ない。(東部、飯豊) ④子供の参加が少ない、歩行困難な方の駐車場を確保する必要がある。(大野) ⑤今後、学習展が中止となった場合の発表、展示方法など検討する必要がある。(中央) ⑥高齢化が進行し、教室生たちだけで開催することが困難である。(玉野)	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	学習発表会の充実と強化						
事業概要	公民館で実施している教室・講座で学習した内容を発表する場を設けて、学習意欲の高揚と、市民との交流を図る事業						
評価年度の取り組み	台風、コロナの影響で各館来館者は、平成30年度→令和元年度の人数、中央605人→0人、東部355人→405人、大野300人→311人、飯豊420人→278人、八幡350人→0人、日立木248人→0人、山上200人→193人、磯部146人→0人 玉野0人→0人 合計2,887人→1,187人となった						
必要性 1~5	5	目的 <input type="checkbox"/> 緊急性 <input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 要望・要請 <input type="checkbox"/> 適応性 <input type="checkbox"/> 類似・重複 <input type="checkbox"/>	有効性 1~5	5	実効性 <input type="checkbox"/> 進捗管理 <input type="checkbox"/> 改善状況 <input type="checkbox"/> 将来性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/>	令和元年度 決算額	0 円
						平成30年 度決算額	0 円
達成度 1~5	5	現況数値 (平成27年 度)	2,405人	目標値(令 和4年度)	2,900人	実績値	1,187人

## 点検及び評価シート 1

部門名

生涯学習

No

2

-

4

大項目	生涯学習施設の充実
施策名	公民館活動の推進
構成する施策	特色ある公民館活動の推進
担当部署	中央公民館
施策の背景と目的	公民館は、地域住民が健康で明るく生きがいに満ちた豊かな地域づくりを目指せるよう、教養・生きがい・健康の大きく3つテーマで教室等を開設するとともに、各地域ごとの実情と住民ニーズに対応した特色ある教室や事業の展開を図っていきます。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	A	<p>A 事業をさらに推進することが妥当</p> <p>B 事業を現状のまま継続することが妥当</p> <p>C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要</p> <p>D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要</p>
成果	各公民館では、教養、生きがいつくり、健康づくりをテーマとした教室の開設以外に重点事業として位置づけた「特色ある事業」を展開しました。この特色ある事業については、台風被害、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できない講座もあったが、延べ参加者で4,862人の参加者があり地区住民のニーズに対応することが出来た。	
課題	教室参加者が固定化傾向にあるため、新規参加につながる講座を企画する必要がある。また、少年仲間づくりの参加者が減少している。台風災害、新型コロナウイルス感染症の影響により各種事業を実施できなかったが、実施や中止の判断をすることが難しくなっている。今後制約がある中での事業展開には不安があるが、主催者として何が出来るかを考え参加者の安全第一を考え判断する必要がある。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	特色ある公民館活動(事業)						
事業概要	各公民館で実施している、「教養」「生きがいつくり」「健康づくり」を目標とした各種教室・講座のほか、各地域住民のニーズに応えていくためや地域の実情に合わせた事業を重点事業として位置づけし、各公民館毎に特色のある公民館活動(事業)の展開を図っている。						
評価年度の取り組み	令和元年度の各公民館における特色ある公民館事業としては、東部:のびのび学級870人、相馬民謡手踊り191人。大野:地域交流ハレホール大会600人、ウォーキング教室37人、サマースクール154人。飯豊:ハゼッ子教室80人、ウォーキング教室37人。八幡:みどりのふれあい広場190人、地域ふれあい教室58人。日立木:英語教室156人、三世代交流事業220人、少年仲間づくり教室16人。山上:やまびこ広場80人、里山ハイキング57人、少年仲間づくり教室87人。磯部:いそべ絆教室17人、認知症サポート講習会8人。消費税ポイント還元講習会9人。玉野:骨太健康体操129人、健康マージャン教室359人、甘酒・しめ縄等教室30人。中央:親子星空教室148人、ペン字教室36人、お菓子教室157人が参加するなど、多くの事業展開を行った。						
必要性 1~5	5	目的 <input type="checkbox"/> 緊急性 <input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 要望・要請 <input type="checkbox"/> 適応性 <input type="checkbox"/> 類似・重複 <input type="checkbox"/>	有効性 1~5	5	実効性 <input type="checkbox"/> 進捗管理 <input type="checkbox"/> 改善状況 <input type="checkbox"/> 将来性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/>	令和元年度決算額	973,000 円
						平成30年度決算額	1,335,000 円
達成度 1~5	4	現況数値 (平成27年度)	—	目標値(令和4年度)	—	実績値	—



# 点検及び評価シート1

<b>部門名</b>	<b>生涯学習</b>	No	2	—	5
------------	-------------	----	---	---	---

大項目	図書館機能の充実
施策名	図書館機能の充実
構成する施策	図書資料等の充実と利用推進
担当部署	生涯学習部 図書館
施策の背景と目的	図書館利用者の満足度をより高めるためには、図書資料等をバランスよく収集し、合理的に整理・保存しながら、適切な図書館運営を図る必要があります。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	A	A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要
成果	相馬市図書館ステップアップ計画により、平成31年度は児童図書を重点的に収集し、前年度比で購入は9%増となり、所蔵は0.4%増となりました。また、図書館の利用促進に向けて、図書館報「うぐいす」同増刊号「こどもうぐいす」や「図書館要覧」を発行するとともに、「広報そうま」、市のホームページなどにより広報活動に努めました。併せて、時宜に応じた別置展示などを定期的に開催し、「ファースト絵本コーナー」、子供向けも含めた「本の福袋」を開始しました。	
課題	限られた予算の中で、アンケート等の実施により利用者ニーズや関心分野を勘案し、相馬市図書館ステップアップ計画に基づいたバランスのとれた収集(選書)に努めながら、図書資料の充実を図っていく。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	児童図書の収集						
事業概要	相馬市図書館ステップアップ計画に基づき、幼児期の読み聞かせや児童にある程度の読書習慣を持たせるため、児童図書の購入を積極的に進めました。						
評価年度の取り組み	児童向け図書購入の取り組みについて、職員による選書を重視し、幼児用絵本をはじめ出版社からのおすすめ図書を勘案しながら書籍等の購入に努めました。さらに、夏休み・冬休みの推薦図書を購入し、リニューアルした学校用図書セットの貸出を行いました(33セット)。						
必要性 1～5	5	目的 <input type="checkbox"/> 緊急性 <input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 要望・要請 <input type="checkbox"/> 適応性 <input type="checkbox"/> 類似・重複	有効性 1～5	5	実効性 <input type="checkbox"/> 進捗管理 <input type="checkbox"/> 改善状況 <input type="checkbox"/> 将来性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 効率性	令和元年度 決算額	1,459,000円
						平成30年 度決算額	2,376,000円
達成度 1～5	4	現況数値 (平成27年 度)	—	目標値(令 和4年度)	—	実績値	—

# 点検及び評価シート 1

<b>部門名</b> 文化	<b>No</b> 3	-	1
---------------	-------------	---	---

大項目	芸術文化の振興
施策名	芸術文化活動の促進
構成する施策	音楽の郷づくり事業の推進
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
施策の背景と目的	日常から身近に音楽に触れ、豊かな感性を育み、潤いのある生活を送るため、広く市民が生音楽に親しむ機会を創るとともに、音楽大学生や若い音楽家、プロの音楽家を目指している方等に演奏する場を提供し演奏家の育成に努め、「音楽の息づく街」として内外にアピールし、文化的な交流を増やすことにより地域活性化を目指します。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	B	A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要
成果	令和元年度は、例年同様の3回の演奏会を実施し、相双地方出身の演奏者などが出演しました。主に未就学児を対象とした「0歳からのコンサート」では、約300名の親子が来場し、大盛況となりました。	
課題	市民活動に移行する計画でしたが、発足以来相馬市職員で事務を取り扱っています。スタッフの高齢化に伴い、若い人材の確保を要望され、新たに市職員スタッフ4名が加入しましたが、今後の「そうま音楽夢工房」の活動を担う人材の育成・発掘が急務となります。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	そうま音楽夢工房コンサートの実施								
事業概要	より多くの人に来場していただき、広く市民が音楽に親しむ機会を創るとともに、音楽を通じた心の癒し、音楽の力で多くの人を勇気づけることを目指します。								
評価年度の取り組み	令和元年度は演奏会を計3回実施。多くの市民等に、低料金で生の演奏を提供できました。 7月13日 0歳からのコンサート ～さあ乗り物の歌で世界一周だ！～ 【292名】 9月21日 混合四重奏によるバロックの響き 【119名】 2月8日 SUNNY'S JAZZ LIVE in 相馬！ 【143名】								
必要性 1～5	5	目的 緊急性 義務 要望・要請 適応性 類似・重複	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	有効性 1～5	5	実効性 進捗管理 改善状況 将来性 情報提供 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	令和元年度決算額	1,833,213円
達成度 1～5	5	現況数値(平成27年度)	—	目標値(令和4年度)	—	実績値	554人	平成30年度決算額	2,457,447円

# 点検及び評価シート 1

部門名	文化	No	3	—	2
-----	----	----	---	---	---

大項目	文化財の保存・活用
施策名	歴史的伝統文化の保存伝承
構成する施策	相馬市史編さんの実施
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
施策の背景と目的	市史編さん事業は、市制50周年(H16.3.31)を記念し、本市のいにしえをたずね、新しい相馬市づくりに寄与するため、古くは縄文以前に遡る本市の長い歴史や文化、現代に引き継がれた豊かな自然等に関して調査・研究を進めることを目的として事業開始しました。その成果をまとめて市民に提することにより、市の文化振興に役立てていきます。さらには、市民が郷土の歴史や文化を学び、郷土の現状を正しく把握し、市民としての自覚を高め、将来に向け市政発展の精神的基盤をつくることを目的としています。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	C	A 事業をさらに推進することが妥当 B 事業を現状のまま継続することが妥当 C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要 D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要
成果	『相馬市史』の刊行に向けた編さん作業(原稿執筆/編集・校正等)を中心に実施しました(販売実績＝新市史32冊、旧市史3冊、史料所在調査報告書0冊、衆臣家譜約50冊)。蓄積された知識・情報を活かし、市内外からの相馬の歴史等に関する問い合わせに応じた資料提供など、円滑な対応ができました。	
課題	執筆者と密に連絡を取りながら進捗状況の管理に努めていますが、執筆者からの原稿提出や校正ゲラの返却が遅くなりがちで、なかなか刊行計画どおりに進めることができず苦慮しています。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	市史編さん事業						
事業概要	『相馬市史』の刊行(平成24～令和4年度に全10冊刊行予定)*その他に年表も刊行する。 ・平成24年度『相馬市史第6巻資料編Ⅲ近世2』 ・平成26年度『相馬市史第4巻資料編Ⅰ 原始・古代』『相馬市史第8巻特別編Ⅰ 自然』 ・平成29年度『相馬市史第9巻特別編Ⅱ 民俗』『相馬市史第7巻資料編Ⅳ近代・現代』 ・令和2年度『相馬市史第4巻資料編Ⅰ 中世』『相馬市史第5巻資料編Ⅱ/近世1』『相馬市史第3巻通史編Ⅲ/近代・現代』 ・令和3年度『相馬市史第2巻通史編Ⅱ/近世』 ・令和4年度『相馬市史第1巻通史編Ⅰ/原始・古代・中世』『相馬市年表』						
評価年度の取り組み	編さん委員会・専門委員会・各部会(会議及び調査)の開催、個人調査の外、 ・中世:『相馬市史第4巻資料編Ⅰ 中世』編さん作業(編集・校正等) ・近世:『相馬市史第5巻資料編Ⅱ 近世1』編さん作業(原稿執筆(翻刻)/編集・校正等) ・近代・現代:『相馬市史第3巻通史編Ⅲ 近代・現代』編さん作業(原稿執筆/編集・校正等) ・原始・古代・中世:『相馬市史第1巻通史編Ⅰ 原始・古代・中世』編さん作業(構成案の協議)						
必要性 1～5	5	目的 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性 <input checked="" type="checkbox"/> 義務 <input checked="" type="checkbox"/> 要望・要請 <input checked="" type="checkbox"/> 適応性 <input checked="" type="checkbox"/> 類似・重複 <input checked="" type="checkbox"/>	有効性 1～5	5	実効性 <input checked="" type="checkbox"/> 進捗管理 <input checked="" type="checkbox"/> 改善状況 <input checked="" type="checkbox"/> 将来性 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/>	令和元年度決算額 10,537,126円 平成30年度決算額 10,066,670円	
達成度 1～5	—	現況数値 (平成27年度)	—	目標値(令和4年度)	—	実績値	—

# 点検及び評価シート 1

部門名 <b>文化</b>	No	3	—	3
---------------	----	---	---	---

大項目	文化施設の充実
施策名	市民会館の利活用促進
構成する施策	市民の文化振興の拠点、利活用促進
担当部署	生涯学習部 相馬市民会館
施策の背景と目的	市民会館は市民の文化振興の拠点として、適正な管理運営に努めながら施設の利活用の促進を図ります。 利用許可申請に基づき、利用者が安全に安心して催しができるように貸館業務を行うとともに、施設の適正な維持管理及び利活用促進に努めます。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	B	<p>A 事業をさらに推進することが妥当</p> <p>B 事業を現状のまま継続することが妥当</p> <p>C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要</p> <p>D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要</p>
成果	市民会館の利用促進に向けて、市内の公共施設等に市民会館のパンフレットを配置し、利用者に配布するとともに、市のホームページや広報紙に掲載し、利活用のPRに努めましたが、令和元年の台風19号や10月25日の豪雨からの復旧を迅速に進めるため市民会館が災害派遣による自衛隊や応援自治体の出発拠点となり、施設の一部を休止しました。また、令和2年2月末から3月末の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大ホール等をはじめ不特定多数の来場者が利用するイベントは中止となり、令和元年度の年間利用者数は、41,282人で目標値の50,000人を下回りました。	
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者に対し手洗い・うがいの徹底及びマスクの着用、部屋の喚起、利用者間の距離を2m以上離す等安全対策を施すとともに広報誌や市のホームページに市民会館各部屋の適正利用人数を示し、利用促進を図ることが課題。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	市民会館の利活用促進						
事業概要	<p>①広報そうま(毎月15日号)と市のホームページ及び地域情報誌に、会館の催し等を掲載し、利活用のPRに努めました。</p> <p>②会館内外の掲示板と市役所庁舎のインフォメーションに、予定表やイベント等の掲示を行い利活用のPRに努めました。</p> <p>③会館を定期的に利用している団体の方を通じて、利活用のPRに努めました。</p>						
評価年度の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民会館催しの予定表について、見やすい掲示になるよう取り組みました。</li> <li>市役所庁舎内のインフォメーションに主なイベントの予定表の掲示に取り組みました。</li> <li>地域情報誌『いんぷお』に市民会館のイベントを掲載し、新たな市民会館の利用促進に努めました。</li> </ul>						
必要性 1～5	5	目的 <input type="checkbox"/> 緊急性 <input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 要望・要請 <input type="checkbox"/> 適応性 <input type="checkbox"/> 類似・重複 <input type="checkbox"/>	有効性 1～5	4	実効性 <input type="checkbox"/> 進捗管理 <input type="checkbox"/> 改善状況 <input type="checkbox"/> 将来性 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/>	令和元年度決算額	56,372,086円
達成度 1～5	4	現況数値(平成27年度)	51,802人	目標値(令和4年度)	50,000人	実績値	41,282人

# 点検及び評価シート 1

部門名 <b>文化</b>	No 3 - 4
---------------	----------

大項目	文化財の保存・活用
施策名	歴史資料収蔵館における常設展・企画展の開催
構成する施策	歴史資料収蔵館の利用促進
担当部署	生涯学習部 生涯学習課
施策の背景と目的	平成26年7月に開館した歴史資料収蔵館において、常設展と企画展を開催することで、市民や観光客が相馬の歴史文化に親しめるばとします。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	A	<p>A 事業をさらに推進することが妥当</p> <p>B 事業を現状のまま継続することが妥当</p> <p>C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要</p> <p>D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月22日 尚美各園大学 伊藤詩織 准教授を招き、ギャラリートーク『新名所の虚実「松川十二景和歌色紙帖」をめぐって』を開催。→相馬市の文化財をより多くの市民等へ周知するため、御仕法通りにてパネル展を実施。</li> <li>7月27日～9月23日にかけて、昨年駒焼等50点以上寄贈頂いた「高松治男コレクション」を市内外に発信すべく、『～高松治男コレクション～近現代の相馬の美術・工芸展』を開催。</li> <li>2月21日～3月22日にかけて、令和元年度は、記念物保護制度が施行されてちょうど100周年にあたることから、全国の著名な記念物と市内の記念物を紹介することを目的に、『記念物100年展～相馬市の史跡・天然記念物～』を開催。※新型コロナウイルスの影響により、3月3日より企画展中止となる。</li> <li>常設展について、継続的に企画展を実施した結果、駒焼50点以上の寄贈(高松治男コレクションその他)があり、相馬市ゆかりの資料の拡充が図れたと共に、常設展の更なる充実に寄与するに至る。</li> </ul>	
課題	<p>当館では、嘱託職員3名並びに併任事務職2名体制で開館・受付・説明などの通常業務を行い、企画展は、事務職員が企画・立案・運営を行っている。収蔵資料の調査についても、専門職員不在ながらも、資料整理を行っているが、資料の本質的価値を企画展で紹介しうる段階までの整理作業は現在も実施困難である。資料の本質的価値を理解し、保存活用や本市の歴史を周知しうる企画展の開催や常設展のリニューアルを実施するため、保存・活用を専門的に遂行できる専門職員配置が望まれる。</p>	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	歴史資料収蔵館における常設展・企画展の開催						
事業概要	常設展では、出土遺物や甲冑、古文書などの展示資料から構成される通史(原始～近世)や佐藤玄々(朝山)、相馬駒焼、御仕法(二宮仕法)、相馬民謡などを写真パネルやグラフィックも含め紹介。当館に収蔵される資料を用い、年2回の企画展を開催。さらに、不定期に収蔵資料をテーマとした講演会を実施する。						
評価年度の取り組み	6月22日 ギャラリートーク『新名所の虚実「松川十二景和歌色紙帖」をめぐって』講師 伊藤 詩織 7月27日～9月23日 『～高松治男コレクション～近現代の相馬の美術・工芸展』 2月21日～3月22日、『記念物100年展～相馬市の史跡・天然記念物～』						
必要性 1～5	5	目的 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性 <input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 要望・要請 <input checked="" type="checkbox"/> 適応性 <input checked="" type="checkbox"/> 類似・重複 <input type="checkbox"/>	有効性 1～5	5	実効性 <input checked="" type="checkbox"/> 進捗管理 <input checked="" type="checkbox"/> 改善状況 <input checked="" type="checkbox"/> 将来性 <input checked="" type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/>	令和元年度決算額	11,197,849円
						平成30年度決算額	12,235,488円
達成度 1～5	3	現況数値(平成27年度)	3,816人	目標値(令和4年度)	4,000人	実績値	2,002人



# 点検及び評価シート 1

部門名	体育・スポーツ	No	4	-	1
-----	---------	----	---	---	---

大項目	生涯スポーツの振興
施策名	生涯スポーツの振興
構成する施策	スポーツ少年団活動の充実
担当部署	生涯学習部生涯学習課
施策の背景と目的	震災後、子どもたちの運動不足による体力低下が懸念されている中、子どもたちの運動機会の充実を図るうえではスポーツ少年団の存在は重要です。教育委員会としてスポーツ少年団の魅力と必要性を強く発信し、スポーツ少年団活動の活性化とスポーツ環境の充実に努めます。

## 【施策を構成する事務事業の自己評価】

総合評価	A	<p>A 事業をさらに推進することが妥当</p> <p>B 事業を現状のまま継続することが妥当</p> <p>C 事業の一部を修正・再検討(事業内容・手法・規模・実施主体等)が必要</p> <p>D 事業の見直し・休止・廃止について検討が必要</p>
成果	団員数は前年度と比較すると7名が増となり、単位団数は新規に3団が増えたものの、これまでの登録団3団が減となりました。また、市主催のスポーツイベントのほか、各支援団体が開催するスポーツイベントにも積極的に参加し、指導者と保護者の協力を得ながらスポーツの素晴らしさを感じ、仲間との友情を育み元気に活動しています。また、各種大会で優秀な成績を残す団も増えるとともに、姉妹都市や地域間交流を行うなど、スポーツによる交流が図られています。	
課題	ほとんどのスポーツ少年団では、低学年団員の新規加入が伸び悩み、活動に支障を来す恐れのあるスポーツ少年団が多く見受けられます。引き続き、低学年層がスポーツ少年団に興味を持てるような施策を図る必要があると考えております。	

## 【施策を構成する事務事業の概要・実績等】

事業名	スポーツ少年団活動の充実																
事業概要	「広報そうま」や市のホームページなどでスポーツ少年団の魅力や幼少期におけるスポーツ活動がいかに大切かを保護者に対し伝えるための情報発信を行います。また、各種スポーツイベントをスポーツ少年団の協力を得ながら行い、スポーツ少年団に加入していない子ども達にもスポーツイベントへの参加を促し、スポーツの楽しさや重要性を発信していきます。																
評価年度の取り組み	例年実施しているスポーツイベントのほか、各支援団体と連携し、各種競技のスポーツイベントが開催され、スポーツ少年団も含め多くの子ども達に参加をいただきました。また、「広報そうま」にスポーツ少年団への加入を促すための記事を掲載しました。																
必要性 1～5	5	目的 <input checked="" type="checkbox"/>	緊急性 <input type="checkbox"/>	義務 <input type="checkbox"/>	要望・要請 <input checked="" type="checkbox"/>	適応性 <input checked="" type="checkbox"/>	類似・重複 <input type="checkbox"/>	有効性 1～5	5	実効性 <input checked="" type="checkbox"/>	進捗管理 <input checked="" type="checkbox"/>	改善状況 <input type="checkbox"/>	将来性 <input checked="" type="checkbox"/>	情報提供 <input checked="" type="checkbox"/>	効率性 <input type="checkbox"/>	令和元年度決算額	332,000円
達成度 1～5	3	現況数値(平成27年度)	706人		目標値(令和4年度)	730人		実績値	592人		平成30年度決算額	332,000円					

## 各部門別評価対象事務事業一覧

		評価			
		必要性	有効性	達成度	総合評価
部門名	<b>学校教育</b>				
施策名	確かな学力の育成と個に応じた指導				
事務事業名	<b>学力向上推進事業</b>	5	5	4	A
施策名	自己実現を目指す生徒指導の充実				
事務事業名	<b>教育相談研修会の実施（望ましい人間関係を築く学級経営のための）</b>	5	5	4	A
施策名	学校施設の整備・充実				
事務事業名	<b>老朽化した校舎、設備などの改築・改修の実施</b>	5	5	2	A
部門名	<b>生涯学習</b>				
施策名	相馬市まちづくり出前講座の充実				
事務事業名	<b>相馬市まちづくり出前講座の実施</b>	5	4	4	A
施策名	青少年健全育成市民会議活動の充実				
事務事業名	<b>青少年健全育成市民会議事業</b>	5	5	5	B
施策名	地域づくりを目指したふれあい、交流事業の推進				
事務事業名	<b>学習発表会の充実と強化</b>	5	5	5	B
施策名	特色ある公民館活動の推進				
事務事業名	<b>特色ある公民館活動（事業）</b>	5	5	4	A
施策名	図書資料等の充実と利用推進				
事務事業名	<b>児童図書の収集</b>	5	5	4	A
部門名	<b>文化</b>				
施策名	音楽の郷づくり事業の推進				
事務事業名	<b>そうま音楽夢工房コンサートの実施</b>	5	5	5	B
施策名	相馬市史編さんの実施				
事務事業名	<b>市史編さん事業</b>	5	5	—	C
施策名	市民の文化振興の拠点、利活用促進				
事務事業名	<b>市民会館の利活用促進</b>	5	4	4	B
施策名	歴史資料収蔵館の利用促進				
事務事業名	<b>歴史資料収蔵館における常設展・企画展の開催</b>	5	5	3	A
部門名	<b>体育・スポーツ</b>				
施策名	スポーツ少年団活動の充実				
事務事業名	<b>スポーツ少年団活動の充実</b>	5	5	3	A

## IV 教育委員の意見

点検及び評価（第1次評価）シートに基づき、教育委員による13の施策に対する取り組み方などを、個別評価と総合評価に分けた第2次評価として実施し、教育委員の意見としてまとめました。

評価は、宗形明子教育長職務代理者、菅野明彦委員、森陽子委員、関根進委員、の4人が実施しました。

### 1 個別評価

#### 【学校教育】

##### 1-1 学校教育の充実 [確かな学力の育成と個に応じた指導]

###### 《事務事業：学力向上推進事業》

辞書引き活動、新聞や新聞コラムを活用した家庭学習との連携の成果が出てきている。具体例では、全国学力学習状況調査などにおいて、国語の平均点を上回り、また成績上位10人中8人は、相馬寺子屋学習会参加者で、東大生との学習交流を通じ、前向きな学習態度が醸成された結果と考えます。成果が出てきていますので、この取り組みを継続し他の教科の向上にも努めて頂きたい。

##### 1-2 学校教育の充実 [自己実現を目指す生徒指導の充実]

###### 《事務事業：教育相談研修会の実施（望ましい人間関係を築く学級経営のための）》

QUアンケートを基に、教育相談員を中心に、教育支援相談員、スクールソーシャルワーカーが連携し不登校対策を行った結果、不登校からの復帰や医療福祉につながることにより、子どもの家庭や学校の生活を安定させた成果が出ています。しかしながら、家庭環境や愛着障害による不登校の事例が増加していることが課題として挙げられていることから、医療や福祉機関との連携がより重要になると考え、早め早めの連携対応をお願いします。

##### 1-3 教育環境の充実 [学校施設の整備・充実]

###### 《事務事業：老朽化した校舎、設備などの改築・改修の実施》

老朽化対策は引きつづき、計画的に実施していただき、中長期的な視点で、学校施設などの適正配置の検討をお願いします。



## 【生涯学習】

### 2-1 生涯学習推体制の充実 [相馬市まちづくり出前講座の充実]

#### 《事務事業：相馬市まちづくり出前講座の実施》

新型コロナウイルス感染症の影響下で講座が中止となったのは残念ですが、アフターコロナを見据えて出前講座を見直す必要があると考えます。その際には、体を動かすなどの健康維持の講座や、予算を付けて、専門の講師を招聘した講座を創設するなどを検討してみてはいかがでしょうか。

### 2-2 青少年の健全育成活動の充実 [青少年健全育成市民会議活動の充実]

#### 《事務事業：青少年健全育成市民会議事業》

制度が浸透し過去最も多い申請団体数になっているのは良いことだと思います。なお運営委員会等でより多くの意見が出るよう、工夫をしていただきたい。

### 2-3 生涯学習施設の充実 [地域づくりを目指したふれあい、交流事業の推進]

#### 《事務事業：学習発表会の充実と強化》

新型コロナウイルス感染症の影響下で、公民館での学習展が中止になる中、学習展の内容を台風被害に遭われた方へ支援に切替て、今まで各教室で学んできたことを活かし、学習展での売上を被災者支援として市へ寄付を行うなど他の地域への思いやりを感じる学習展に発展したと思う。

### 2-4 生涯学習施設の充実「特色ある公民館活動の推進」

#### 《事務事業：特色ある公民館活動（事業）》

各公民館で、特色ある公民館活動の取組みが地域に定着してきていると思います。引き続き、工夫しながら事業の継続をお願いします。また公民館活動参加者の固定化を防ぎ、幅広い年代の市民に参加していただくための方策を検討してください。

## 【生涯学習】

### 2-5 図書館機能の充実 [図書資料等の充実と利用促進]

#### 《事務事業：児童図書の収集》

ファースト絵本コーナーを設置し、親が子どもに読ませたい本を分かりやすく紹介し、子どもが本に親しむ機会を増やしたことはとてもよいと思います。またアンケートを実施し、利用者のニーズの高い幼児用絵本や児童図書の積極的な購入を行い、子どもに読書習慣を持たせるよう努めてきたと思います。継続して、定期的に本にまつわる催しを行い、多くの子どもに本のすばらしさや読書習慣が身につくように事業の推進をお願いします。

## 【文化】

### 3-1 芸術文化の振興 [音楽の郷づくり事業の推進]

#### 《事務事業：そうま音楽夢工房コンサートの実施》

若年音楽家の演奏の場、市民が音楽に触れあう場として、うまく機能しており、今後エルシステマ経験者が演奏することを期待します。また将来的に市民活動に移行することも検討してみてもはいかがでしょうか。

### 3-2 文化財の保存、活用 [相馬市史編さんの実施]

#### 《事務事業：市史編さん事業》

計画のとおり市史を出版することに努めてください。執筆者がご高齢になっており、若手後継者の育成も必要と考えます。また編纂された市史を活用することを検討してみてください。

### 3-3 文化施設の充実 [市民の文化振興の拠点、利活用促進]

#### 《事務事業：市民会館の利活用促進》

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、利用者の安心安全確保に努めてください。また、利用者に感染症対策の内容を分かりやすく説明し理解していただき、協力を得られるようにしてください。

### 3-4 文化財の保存・活用 [歴史資料収蔵館の利用促進]

#### 《事務事業：歴史資料収蔵館における常設展・企画展の開催》

常設展、企画展を充実発展させるため、専門職員の配置を検討していただきたい。また子どもたちが、楽しく相馬の歴史文化にふれる企画展を考えていただきたい。

## 【体育・スポーツ】

### 4-1 生涯スポーツの振興 [スポーツ少年団活動の充実]

#### 《事務事業：スポーツ少年団活動の充実》

姉妹都市や他地域の団体と交流が進むことは良い事だと思います。低学年の団体加入者が伸び悩んでおり、スポーツ少年団の活動に支障が出る恐れがあるとのことですが、低学年の子供たちがスポーツに興味を持つように伝え、保護者の理解も得られるように努めてください。また指導者の育成にも力を注いでください。

## 2 総合評価

○全国学力学習場調査や相馬市学力調査の結果から、着実に学習結果がでていくことがわかります。ただ、全国を上回っている科目が国語であるという点では、この言語の力が将来理数系の学力につながっていくものと信じていますが、理系に対する対応も今後は必要かと思えます。また、生涯教育については、社会環境が不安定なかで、臨機応変に対応していかなければならない状況ですが、相馬市の目指す所を市民が共有し、生涯教育に織り込んでいけるとよいと思えます。

○総合評価としては、ほとんどの事業においてAまたはBと判定され、各事業担当において着実に事務・事業執行の努力がなされており、成果をあげていると評価されました。ただ、今年度は、台風、新型コロナの影響もあり、正しく評価されてない事業も見られます。また、それぞれの事業で喫緊の課題も見受けられ、課題に向けて更なる事業の展開を希望します。

○自然災害・コロナ対応等、予期せぬ対応が求められるなか、全てにおいて、成果が出ています。ありがとうございます。相馬の子供たち、相馬市民の更なる成長の為に、引き続き、よろしくお願ひします。

## V 学識経験者の意見

令和2年度（令和元年度対象）

「教育委員会の主な事務及び執行状況の点検及び評価」報告書に関する意見  
福島大学人間発達文化学類 人間発達専攻 准教授 阿内 春生

### 1 学校教育

#### 1-1 学校教育の充実〔確かな学力の育成と個に応じた指導〕

〔事務事業〕 学力向上推進事業

公立小中学校の教育において、基礎的な学力を保障することは義務教育の目的そのものであるといえ、成果が上がっているのであれば取り組みを継続する必要がある。しかし、事業点検の評価項目としては、特定の事業の成果とのみ単純に因果関係を想定できないものをも包含されており、取り組みの中身を点検・検証することが難しい。

英検の取得率が数字として示されているが、他の項目との関連、及び何に取り組んだ結果かが見えず、指標として機能していない。寺子屋学習会の活動は事業との関連が不明である。事業内容が新聞コラムの活用を中心としたものであれば、その点検に焦点化するか、他の項目を立てて事業評価をより正確なものになるように設計し直してほしい。

決算額が大きく減少している理由について市民に説明するためにも、何らか言及が必要であると考えられる。

#### 1-2 学校教育の充実〔自己実現を目指す生徒指導の充実〕

〔事務事業〕 教育相談研修会の実施(望ましい人間関係を築く学級経営のための)

教職員一人一人の教育相談に対する理解を深めることと、きめ細かなフォロー体制の構築とにより、子どもたちの困り感に寄り添い充実した成果を上げていると考えられる。

事業名「教育相談研修会の実施」は従前より引き継がれているものだが、相馬フォロアーチームのカウンセリング事業やスクールソーシャルワーカーの派遣事業などが事業自体の中心的な活動になっていると読み取れ、活動内容と事業名称の不一致や目的の齟齬があるのではないかと考えられる。行政の活動として一貫性と正統性を持たせるため、事業自体の名称や目的を見直す時期に来ているのではないだろうか。

### 1-3 教育環境の充実 [学校施設の整備・充実]

[事務事業] 老朽化した校舎、設備などの改築・改修の実施

老朽化した校舎、設備などとの改築・改修は必要なものである一方で学校適正配置、学区見直しなど学校の将来像が必ずしも明確でない中で着実に進められていることと推察する。引き続き、必要な改修施設の充実に取り組んで頂きたい。

なお、昨年度も指摘しているが、達成度の評価「2」については、他事業との比較を視野に入れたとき、特段の遅れが出ているとの印象を受ける。他項目との比較を可能とするような表記方法を検討すべきではないか。

## **2 生涯学習**

### 2-1 生涯学習推進体制の充実 [相馬市まちづくり出前講座の充実]

[事務事業] 相馬市まちづくり出前講座の実施

災害や新型コロナウイルスの感染拡大の影響を加味しても、受講者数の堅調な推移は一つ一つの活動が根付いていることを示していると考えられ、活動は高く評価できるだろう。

例年課題としてあげられている市民講師の確保については、活動を持続可能なものとするために、世代交代や新規人材の発掘依頼を進める必要がある。ボランティアの市民講師のみで講座が実施されていると考えられるが、些少でも謝金を支出し、併せて参加費用を少額徴収することも検討すべきではないだろうか。厚意に依存して活動を継続することには限界があると考えられる。

### 2-2 青少年の健全育成活動の充実 [青少年健全育成市民会議活動の充実]

[事務事業] 青少年健全育成市民会議事業

支援する団体の数が最大となっていること等は事業が順調に進んでいることを表しており、活動助成が継続されていることをみてとることができる。ただ、行政からの支援がいくらであったか、をもってその成果というにはやや疑問があり、助成を受けた団体の活動が市民にどのような便益をもたらしたのかを示すような指標を提示するようにしてほしい（アウトカムの指標）。この事業でいえば、青少年の健全育成に貢献したという指標が示されるべきである。

### 2-3 生涯学習施設の充実 [地域づくりを目指したふれあい、交流事業の推進]

[事務事業] 学習発表会の充実と強化

災害や新型コロナウイルスの感染拡大の影響があり、活動自体が難しかったことはやむを得ないというべきである。大野公民館の事例のみが成果欄に記載されているが、他にも来館者の伸びた公民館もあり、実施できた公民館では充実した活動が

継続できたと推測することができる。今年度実施できなかった公民館に対しての支援や、代替の機会の提供は今後検討していく必要があるだろう。

#### 2-4 生涯学習施設の充実〔特色ある公民館活動の推進〕

##### 〔事務事業〕 特色ある公民館活動（事業）

昨年度の評価においても指摘しているが、参加者数を達成度の指標として提示するのであれば、前年度との比較が可能なように提示していただきたい。一部の活動が実施できなかったとのことだが、名称の異同があるのか比較してもどの事業が実施できなかったのか必ずしも判然としなかった。市民への説明責任という意味でも、何ができて何ができなかったのか、前年度と比較可能なように提示していただきたい。

参加者の固定化が例年課題として指摘されているが、これに対する対応策はどのように採られているのかを、提示していただく必要もあると考えられる。

#### 2-5 図書館機能の充実〔図書資料等の充実と利用推進〕

##### 〔事務事業〕 児童図書の収集

市立図書館は市民の文化活動の拠点であり、図書資料の充実や特定分野の重点的資料収集も重要であると考えられる。成果を評価するにあたっては、購入した書籍の量や金額だけではなく、それが市民にどう活用されたかを示す指標（例えば貸し出し冊数）などを継続して集計して提示することが必要である。また、平成 30 年度決算額については、昨年度の事業評価シートと一致していないが、このことについて説明する必要がある。

### **3 文化**

#### 3-1 芸術文化の振興〔音楽の郷づくり事業の推進〕

##### 〔事務事業〕 そうま音楽夢工房コンサートの実施

多くの親子が参加した「0歳からのコンサート」等活動の質的な充実が図られており、事業継続に期待をしたい。例年指摘されている市民活動への移行が課題となっている中で、事業の継続のため、また市民が音楽に親しむ機会の充実のため、持続可能な制度設計・事務体制の構築が急務であると考えられる。

#### 3-2 文化財の保存・活用〔相馬市史編さんの実施〕

##### 〔事務事業〕 市史編さん事業

市史の編纂事業は相馬の郷土史を後世に伝え、資史料を集成するために必要な事業であると考えられる。平成 30 年度、平成 31/令和元年度の刊行がなく、徐々に



刊行が繰り延べになってきている巻が生じていることが憂慮される。引き続き、執筆者との連携充実に努め、計画通りに全ての巻を刊行できるように期待したい。

### 3-3 文化施設の充実〔市民の文化復興の拠点、利活用促進〕

#### 〔事務事業〕 市民会館の利活用促進

台風19号や新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、来館者が減少する状況はやむを得ない。その中で、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための様々な対策をとり、利用促進に努めていることに敬意を表したい。引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止には多大な労力を割くことになろうが、関係各位の継続的な取り組みに期待したい。

### 3-4 文化財の保存・活用〔歴史資料収蔵館の利用促進〕

#### 〔事務事業〕 歴史資料収蔵館における常設展・企画展の開催

様々な企画展示を通じて、魅力ある歴史資料収蔵館として運営していこうとしていた矢先に新型コロナウイルスの感染拡大がおき、利用者が数字の面で厳しい状況におかれてしまったことは十分理解できる。ただし、それ以前からも利用者の減少傾向は見られてきたため、時期目標策定時には達成可能な目標を掲げるとともに、魅力的な展示を企画できるよう引き続き努力をお願いしたい。また課題に挙げられている史料の整理分析、研究の促進のための専門職員の配置は、相馬市の郷土を理解し発信する有効な手だてとなると考えられる。ぜひ推進をお願いしたい。

## **4 体育・スポーツ**

### 4-1 生涯スポーツの振興〔スポーツ少年団活動の充実〕

#### 〔事務事業〕 スポーツ少年団活動の充実

各項目が昨年度とほぼ同様の記載となっており残念である。評価シートの中では行政が実施したことが、どのように市民の便益になったのかの指標（アウトカムの指標）を提示していただけるようお願いしたい。意見を述べるにあたってそうした指標を参考にしつつ、建設的な意見を述べていきたいと考えている。取り組みの中身の面では、少子化が進む中で新規団員の確保に苦慮するスポーツ少年団が多くなっていることはやむを得ないと考えられる。

令和２年度（令和元年度対象）

「教育委員会の主な事務及び執行状況の点検及び評価」報告書に関する意見  
福島大学学校臨床支援センター 特任教授 佐藤和彦

【総括的意見】

令和元年度相馬市教育委員会の教育行政は、６年間の計画期間とする「相馬市教育振興基本計画２０１７」推進の３年目を迎えた。教育問題の複雑化、さらには、常に説明責任が求められる事業運営など教育行政の課題も多様化している中、本市教育委員会が「教育振興基本計画」に則り、基本構想と基本計画を掲げ、本市の児童生徒及び市民のために、明確なPDCAサイクルにより教育事務事業を誠実、かつ適切に展開していることに敬意を表したい。

教育行政は、学校教育や生涯教育等を含めた様々な視点からの展望や、計画、対応が必要とされる総合的な営みであり、国や県の教育行政との連動性や相互関連性も求められる。加えて、相馬市総合計画「相馬市マスタープラン２０１７」に基づく「教育振興基本計画」を策定する中で、基本理念「地域づくりを支え心豊かに力強く生き抜くひとづくり」のもと、施策構成の骨格をしっかりと固め、独自の「戦略性」をもって教育行政を進めてきた。

「教育事務点検評価」は、議会への報告、市民への公表を通して説明責任を果たすという趣旨とともに、点検及び評価シートを見るに、教育行政を動かす力は組織内部にあり、それを事業実施過程・成果の省察と気づきによって意味づけていることがうかがわれる。いわば、「教育事務点検評価」の表と裏のねらいについて、再確認する必要がある。

事業評価では、いつも「実績値」と「目標値」比較による「達成度」が重要となってくるが、「評価指標」については、PDCAの関連から、事業内容に相応した達成度が、具体的に評価できるような指標と、さらには設定された目標値が事業の実態に見合っていることが求められてくる。また、定量的評価と併せて、評価の背景や要因、取り組みの過程、現場の声等の多角的視点を加えた定性的評価も積極的に取り入れていくことで、教育行政の取り組みに新たな説得力が生まれるであろう。

今回の「教育事務点検評価」結果は、６年間の計画期間である「教育振興基本計画」の折り返しとなる中間地点としての総括であることから、計画の全体像の省察とともに、この結果が、後半３年間を見据えた次年度以降の事業運営に反映されることを期待するものである。

以下、具体的な意見を述べる。

## 1 学校教育

### 1-1 学校教育の充実〔確かな学力の育成と個に応じた指導〕

〔事務事業〕 学力向上推進事業

児童生徒の主体的な学びと「確かな学力」の定着に向けた教育活動の質と内容の充実は、学校教育における喫緊の課題である。本事業は、各学校の学力向上に向けた主体的な取り組みを、教育環境の整備充実等の側面から一層助長するものであり、特に新聞や新聞コラムを活用した家庭学習との連携を図った取り組みは、児童生徒の思考力・判断力・表現力の育成に向けて大変意義深く、貴重な取り組みといえる。

ともすると費用対効果の側面が強く求められがちであるが、学力は、短期間でその成果が見とれるものではない。今後は、教員の指導力や児童生徒の学力の実態を見極めながら、中・長期的な展望に立った計画的・継続的な事業の展開に努めていただきたい。さらには、本事業の達成状況を把握するうえでも、学力に関する目標を必要に応じて目標指標、成果指標として設定することで、本事業の達成度を評価すべきと考える。

### 1-2 学校教育の充実〔自己実現を目指す生徒指導の充実〕

〔事務事業〕 教育相談研修会の実施(望ましい人間関係を築く学級経営のための)

「確かな学力の向上」と、一人ひとりの自己肯定感を高め、夢と志を持って、自己実現を図ろうとする児童生徒の育成に向けた「生徒指導の充実」は、学校教育の両輪である。とりわけ、現在、不登校児童生徒が増加の中にあって、望ましい人間関係づくりを基盤とする学級経営と教育相談の充実に向けた取り組みは、大変重要となってくる。

QUアンケートの実施とその活用は、児童生徒、学級の状況把握、及び指導成果の検証のためには、極めて有効である。さらには、カウンセリング業務やスクールソーシャルワーカー配置事業、メンタルヘルスサポート事業等と連動させながらの事業展開は、高く評価したい。不登校問題の解決に向けては、教員一人ひとりのカウンセリングマインドを高めていくとともに、児童生徒の心のケアへの手厚い指導と支援に向けた体制づくりは急務であることから、今後も引き続き、教育、医療、福祉が一体となった積極的な取り組みを推進していくことを期待する。

### 1-3 教育環境の充実〔学校施設の整備・充実〕

〔事務事業〕 老朽化した校舎、設備などの改築・改修の実施

限られた予算の中での、安全安心な学校づくりに向けた耐震化対策と老朽化対策の計画的な取り組みについて、大いに評価するとともに、今後も計画推進に向けて努力を継続していった欲しい。しかしこれらの推進のためには、多くの財源確保が

求められてくることから、施設の統廃合や学区再編の見直しなども視野に入れながら検討していかなければならない。

達成度の評価が「2」で示されているが、その評価の根拠を明確に記述する必要がある。今回の評価が、今後の事業展開にどのように生かされていくのか、注視される場所である。

## 2 生涯学習

### 2-1 生涯学習推進体制の充実〔相馬市まちづくり出前講座の充実〕

〔事務事業〕 相馬市まちづくり出前講座の実施

台風や新型コロナ感染の影響があったものの、事業実績値については、十分評価できるものであり、事業の周知、及びその成果が十分に認められる場所である。

今後も受講者のニーズに応える魅力的な講座にしていくための工夫が求められてくるが、生涯学習の観点からすれば、学習者の主体的な意志、態度が重要であることから、この先、行政主体から市民との協働による事業展開へと舵取りしていくことが肝要であろう。また、「相馬市まちづくり出前講座」の理念を踏まえたとき、相馬市の現状や歴史等を通して、「ふるさとへの自信と誇り」を育む事業となることを期待したい。

### 2-2 青少年の健全育成活動の充実〔青少年健全育成市民会議活動の充実〕

〔事務事業〕 青少年健全育成市民会議事業

現在、子どもを取り巻く環境において、様々な問題要因が山積している中で、「地域全体で子どもを育てていく」を基本理念とする、青少年健全育成市民会議の主体的で地道な取り組みは、大変意義深く、地域の教育力の活性化にもつながる取り組みであるといえる。

活動奨励金の申請数の増加は、それらが必要とされる背景に、非行を含めた様々な問題行動が表出している可能性も考えられる。また、市民の意識啓発の意味からも、「子どもを取り巻く現状と課題」に関する各種研修会を意図的に実施していくことも必要と考える。

### 2-3 生涯学習施設の充実〔地域づくりを目指したふれあい、交流事業の推進〕

〔事務事業〕 学習発表会の充実と強化

本事業は、これまでに目標値達成に向けて、実績値を少しずつ上げている取り組みとなっていたが、今回は台風、新型コロナ感染の影響もあり、中止に追い込まれる状況下で目標値を大きく下回った。特にコロナ感染は今後もその影響が懸念されることから、事業実施の方法、内容について大幅な見直しが必要と求められてくるであろう。

う。それまでの学習発表会の実施に向けた課題が散見する中であって、新たにコロナ対策の要因が加わったことは、事業の抱える課題解決が一層困難さを伴うものとなってくると考える。実施にあたっては、これまで以上に、地域住民の理解と協力が不可欠であり、その橋渡し役としての教育委員会の果たす役割は大きいと言える。

#### 2-4 生涯学習施設の充実〔特色ある公民館活動の推進〕

##### 〔事務事業〕 特色ある公民館活動（事業）

本事業は、これまでに目標値達成に向けて、実績値を少しずつ上げている取り組みとなっていたが、今回は台風、新型コロナ感染の影響もあり、中止に追い込まれる状況下で目標値を大きく下回った。特にコロナ感染は今後もその影響が懸念されることから、事業実施の方法、内容について大幅な見直しが求められてくるであろう。それまでの学習発表会の実施に向けた課題が散見する中であって、新たにコロナ対策の要因が加わったことは、事業の抱える課題解決が一層困難さを伴うものとなってくると考える。実施にあたっては、これまで以上に、地域住民の理解と協力が不可欠であり、その橋渡し役としての教育委員会の果たす役割は大きいと言える。

#### 2-5 図書館機能の充実〔図書資料等の充実と利用推進〕

##### 〔事務事業〕 児童図書の収集

各自治体の予算がひっ迫している中であって、財源確保に努めながら、図書館機能の充実に向けた本事業の図書の選定、収集、併せて館報、要覧発行など積極的な広報活動を並行して行っており、今後とも継続的な取り組みに期待したい。

達成度は「4」となっているが、事業実施の効果について、検証していく必要がある。今後、図書館利用者数の変化や貸し出し冊数の状況等を明らかにするなどして検証していくことで、事業実施の取り組みと効果が明らかになるであろう。

### **3 文化**

#### 3-1 芸術文化の振興〔音楽の郷づくり事業の推進〕

##### 〔事務事業〕 そうま音楽夢工房コンサートの実施

開催回数は前年比で5回から3回と減っているものの、実績値からは、市民の関心の高さとともに、事業の有意義さが十分認められるところである。

今後、市民活動に移行する計画準備を本格化していくことで、市民との協働の視点に立った事業展開が期待でき、「音楽の息づく街」の理念がさらに広がりが増すものと考えられる。また、クラシックに限らず、幅広い世代により親しみやすい鑑賞会となるよう、ジャンルを意図的に広げていくことも課題であり、学校や市民の音楽団体との連携や交流等、コンサート実施の可能性を広げていきたい。



### 3-2 文化財の保存・活用 [相馬市史編さんの実施]

#### [事務事業] 市史編さん事業

市史の編さん作業は、市民が郷土の歴史や文化を学び、将来の市政発展の精神的基盤をつくる上で、極めて重要な事業であると受け止めている。一方でその作業は、専門的知識と多くの時間や経費を伴う地道な作業でもある。

それらを踏まえると、総合評価が「C」となっており、達成度が明記されていないことについては、今後、計画とともに作業内容の実質的な進捗状況を勘案して評価していくことが妥当だと思われる。さらに、市史編さん作業と併せて、その公開、活用をどう図っていくのかが課題となってくるであろう。

### 3-3 文化施設の充実 [市民の文化復興の拠点、利活用促進]

#### [事務事業] 市民会館の利活用促進

本事業は、これまでの実績値からすると、利活用促進に向けた広報活動が機能して、事業が順調に推進されてきたが、今回は目標値を下回る結果となった。これは災害対応、新型コロナ感染対応による市民会館利活用制限によるもので、やむを得ない事態といえる。むしろ、そのような厳しい状況の中で、市民の安全安心確保に努めながら事業推進に意をそそいだ職員、関係者の方々のご苦勞に頭が下がる思いである。

課題にあげられていた新型コロナ感染防止対策については、「三密」防止対策を十分講じるとともに、広報活動のさらなる取り組みを継続しながら、市民に理解と協力を得られるよう努めていただきたい。

### 3-4 文化財の保存・活用 [歴史資料収蔵館の利用促進]

#### [事務事業] 歴史資料収蔵館における常設展・企画展の開催

現在の職員体制や、業務体制からすると、現状の事業推進については、一定以上評価できるものとする。常設展や企画展のリニューアルに向けては、専門職員の配置は不可欠であるとするが、そのためには財源確保が大きな課題であろう。

今後、専門家や学芸員の方々のご意見、ご助言をいただきながら、現在の体制の中で、限られた予算を踏まえ、徐々に改善への取り組みを期待するものである。

## **4 体育・スポーツ**

### 4-1 生涯スポーツの振興 [スポーツ少年団活動の充実]

#### [事務事業] スポーツ少年団活動の充実

本事業は、児童生徒の社会性の育成や、地域の人々、異世代間との交流等、学校体育では補えない多様で重要な側面を持つとともに、地域の教育力を活用した地域

ぐるみのスポーツ振興につながるものである。

課題である新規加入の伸び悩みや、少子化が進み、年々単位団体や団員数が減少してきている現状にあっては、これまで以上に、「指導者養成」、「運営経費補助」、「広域化」等の支援や工夫が重要となってくるであろう。

東京オリンピックを控え、スポーツ参加への気運が高まる中、今後、スポーツ少年団の魅力を広く発信していく多様な広報活動を展開しながら、官民一体となったスポーツ少年団活動の充実に努めていただきたい。